

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和06年06月21日(金)

事務事業		渋沢栄一地域活性化事業		担当課	渋沢栄一政策推進課	担当係	渋沢栄一政策推進係	管理番号	14121
総合計画	大項目	2	次代を担う人と文化を育むまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	誰もが生きがいを持ち学ぶことのできるまちづくり	根拠法令 個別計画等	「渋沢栄一翁と論語の里」整備活用計画				
	小項目	4	渋沢栄一の顕彰と精神の継承						
	主要プロジェクト	1	渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト						
事業概要		渋沢栄一を活用した地域の活性化に関する事業。新一万円札の発行を見据え、渋沢栄一の残した功績やその理念を全国に発信するとともに生誕地である本市の認知度を向上させる。							
目的 ※何のために		深谷市を全国へ広く情報発信し、市民のシビックプライドを醸成して地域の活性化を図るため。							
対象 ※誰・何を対象に		全国から深谷市を訪れるかたを対象とする。							
手段 ※どのように		ロゴマーク・肖像写真の適切な管理や、新一万円札の発行を見据えての各種プロモーション活動などを行う。							
成果 ※何を求めるか		プロモーション活動の実施により深谷市を訪れる人数を増加させ、まちなかへの回遊を促し、地域の活性化につなげて、渋沢栄一と深谷市の認知度を向上させる。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
本事業の 主な業務		・ 渋沢栄一を核とした地域活性化				・			
		・ 渋沢栄一関連施設間の回遊策の研究・実施				・			
		・ 渋沢栄一に関するプロモーションの総合調整				・			
		・				・			
		・				・			
		・				・			

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
年度別計画							
事業費	予算(現額)	0	0	0	0		
	決算額	0	0	0	0		
	財源内訳						
	国支出金	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	他特定財源	0	0	0	0		
	一般財源	0	0	0	0		
人件費	従事職員数(人)	2.10	2.20	2.75	2.75		
	人件費相当試算※	16,526,070.00	17,622,363.00	22,992,475.00	22,992,475.00		
総事業費試算		16,526,070	17,622,363	22,992,475	22,992,475		

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
実績値の算出式									
活動指標 1	渋沢栄一翁関連イベント実施回数	目標値	回	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
		実績値		35.00	38.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			1ヶ月に1回の開催を目標とする。 / 開催回数					
	実績値の算出式								
活動指標 2	渋沢栄一関連施設の回遊イベント実施件数	目標値	件	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		実績値		1.00	2.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			四半期に1件を目標とする。 / イベント実施件数					
	実績値の算出式								
成果指標 1	ロゴマーク・肖像写真の使用件数	目標値	件	480.00	480.00	480.00	480.00	480.00	480.00
		実績値		139.00	171.00				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			1ヶ月に40件を目標とする。 / 年間使用件数					
	実績値の算出式								
成果指標 2	ロゴマーク・肖像写真商品化金額	目標値	百万円	720.00	720.00	720.00	720.00	720.00	720.00
		実績値		805.69	762.75				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			件数の半数を商品とし、平均300万円を目標とする。 / 売上額及び制作費用					
	実績値の算出式								
成果指標 3	渋沢栄一記念館及び中の家の来場者数	目標値	千人	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00	120.00
		実績値		134.00	145.15				
	目標値の算定根拠/実績値の出所			1ヶ月に1万人を目標とする。 / 記念館と中の家の年間来場者数					
	実績値の算出式								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
	実績値の算出式								

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	駅からハイキングやスタンプラリーの実施による施設回遊イベントや、ねぎサミットやふかやシティハーフマラソンでのイベントでPRを実施するなどして活動指標の目標を概ね達成していることから、Bとする。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	ロゴマーク・肖像写真の使用件数については目標値を下回っているが、商品化の金額や施設の来場者数は目標値を上回っているため、Bとする。
			評価者 渋沢栄一政策推進係長 高田 弘徳

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	ロゴマーク・肖像写真の使用について、オンライン申請の仕組みを構築し、業務を効率化することができた。また、イベントの実施について様々な団体等との協力により事業を実施することができたため、Aとする。
			評価者 渋沢栄一政策推進係長 高田 弘徳

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和4年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	新一万円札発行を見据えての冠事業の実施など、全庁的に実施する。あわせて深谷商工会議所やふかや市商工会、深谷市観光協会などに対しても新一万円札発行の機運を高めるよう協力を促していく。
達成状況及び その効果	「渋沢栄一新一万円札発行記念」の冠事業を庁内のみにとどまらず民間にも使用いただくことができた。深谷商工会議所、ふかや市商工会、深谷市観光協会とも協力して新一万円札のPRを行うことができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	渋沢栄一地域活性化事業	担当課	渋沢栄一政策推進課	担当係	渋沢栄一政策推進係	管理番号	14121
<div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div> <div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div> <div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div> <div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div> <div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div> <div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div> <div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div> <div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div> <div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div>		評価の内容説明					
		令和6年7月3日の新一万円札発行に向けて一丸となって盛り上げていくため、事業費を拡充し、市内外でのPRに重点的に取り組む。発行となる7月3日を中心として、またとないこの機会を逸することのないように事業を実施していきたい。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	渋沢栄一政策推進課長 塚越 稔				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和6年度に実施する 改善・改革案 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	令和6年7月3日の新一万円札発行に向けて市内外でのPRイベントを実施する。発行日当日のイベントや、その周辺におけるイベントを中心として新一万円札発行を起点とした各種取組を実施していく。
令和7年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 （事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善）	新一万円札発行後も盛り上がりが続けられるよう渋沢栄一のプロモーションを行っていく。そして、渋沢栄一イコール深谷市のイメージが確立されるよう取組を実施していく。

8. 評価指標グラフ

